

令和6年度 学校関係者評価委員会 結果

1. 学校関係者評価委員会開催日時・場所

令和7年3月21日（金）14：00～15：00 看護学校 学校長室

2. 学校関係者評価結果と今後の課題

- 1) 準備資料 (1) 令和6年度看護学校運営目標に対する実施及び評価
(2) 学生によるカリキュラム評価（卒業生、2年生、1年生）
(3) 授業科目別平均点一覧
(4) 学生による科目評価一覧
(5) 自己点検・自己評価結果
(6) 教育理念・教育目標

2) 審査結果

令和6年度看護学校運営目標ごとに評価委員による審査結果を一部抜粋して掲載する。

(1) 「教育の質の向上を図る」

- ・3学年とも新カリキュラムの体制となり、特に臨地実習では実習時間や実習方法の変更等があり、実習指導者会議で学校と臨床が情報共有と意見交換し、連携・協働して実習指導に取り組むことができたと思う。教員2名の欠員がある中、学生個々に合わせた教育実践に取り組んでいることが伝わった。学生が多様化しているため、母体病院の実習施設として学生の価値観やニーズに応じる難しさを感じている。母体病院の魅力を学生に伝えることができるよう学校と連携をとっていきたい。また、実習指導者講習会を受講していない者が多いため、指導者に教育スキルも伝えていただきたい。

(2) 学校経営基盤の安定を図る

- ・「自己点検・自己評価」の「IV. 経営・管理過程」の評価が昨年度より低下した要因が、昨年度閉校の方針が決定して教員の意欲低下に影響しているのではないかと危惧したが、閉校の具体的な準備をこれから本格的に進めるということで理解した。
- ・閉校に向けて備品購入や修理を配慮していただいていることはありがたいが、学校運営に支障がないよう病院としても協力する。

(3) 社会人としての自覚を高め、主体性及び協調性を養うよう支援する

- ・学生によるカリキュラム満足度調査結果で、「学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい存在である」が3.0未満であったため、この結果を真摯に受け止め、改善に努める。

(4) 教員としての能力開発に努める

- ・中国四国グループ主催の研修受講（3名）、副学校長・教育主事協議会新人教員研修部事業の研究授業実施（1名）、授業研修実施（1名）、中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会参加（5名）、国立病院総合医学会口演発表（教育主事）、中国四国地区看護学校紀要投稿（教育主事）、看護技術学会参加（1名）、日本看護学校協議会主催シミュレーション教育に関する研修受講（2名）、鳥取県看護協会主催実習指導者講習会講師派遣（1名）。
- ・教員2名欠員の体制の中、研究授業、学会参加、研修受講等、能力開発に努めている。

(5) 学習、生活環境の充実に努める

- ・閉校に向けて物品購入を控えていることは理解できるが、学生が古い図書が多いイメージが続いているので、古い図書を廃棄したり、本の購入より電子書籍の契約を検討してもよいと思う。
- ・数年ぶりに学生寮での防火訓練を実施したことは良かったと思う。体験することによって色々なイメージを抱ける人間に育つと思うので、継続していただきたい。